

## 課題：シンビジウムのEOD反応を利用した省エネルギー型生産技術の普及

### ねらい

徳島県はシンビジウム切り花出荷量全国有数の産地です。切り花の出荷期間は11月から6月ですが、需要の多い年末出荷させるためには、高夜温管理が必要です。経費に占める燃油の割合が単価の高騰により約20%を占め、また社会的にもCO2削減が求められていることから、使用燃油量の削減が望まれています。

そこで、(独)農業・食品産業技術総合研究機構の普及に移しうる研究成果2010年「EOD反応を活用したスプレーギク等の省エネルギー型効率生産技術」を導入し、シンビジウム切り花栽培において開花時期を遅らせず、品質を確保できるEOD-Heating処理技術を確立し、その使用燃料削減効果を試算・検証するとともに、現地に於いて実証し、早期の技術普及を図ります。

### 活動地域・対象

- ①対象地域：県下全域
- ②対象者：シンビジウム生産者

### 普及活動の目標

- ①消費燃料の削減を図り経営費の低減ができる。4戸
- ②品質の維持や年内出荷を行うため適正な温度設定を行います。

### 目標に向けた活動概要

- ①EOD事業内容の検討  
EOD導入検討会（実証ほの品種、温度設定）
- ②現地調査や導入農家との打ち合わせ
- ③研究所における実証ほ（生育、燃油使用量、開花調査）
- ④先進地事例調査（優良事例）
- ⑤成績検討会（効果分析、今後推進方法の検討）



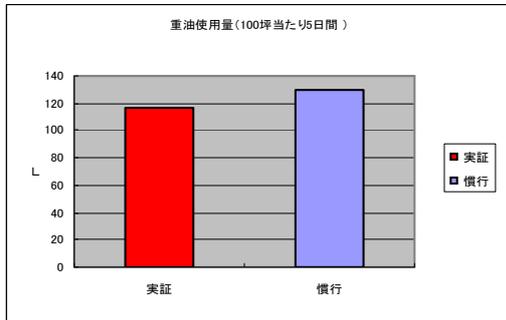
導入検討会



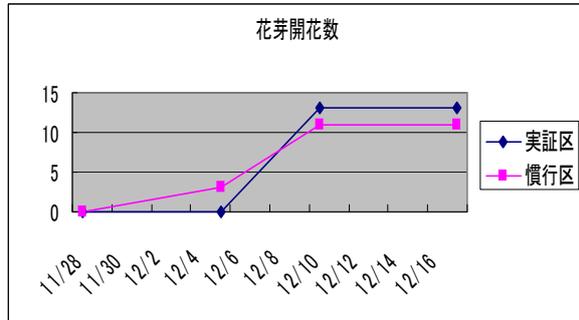
実証ほ（阿南市）

## 普及活動の成果

- EOD-heating 処理展示ほの設置 4カ所
- EOD処理による消費燃料量・生育・開花調査による管理モデルの作成



燃油使用量 (上板町)



開花状況 (美馬市) 5鉢当たり

用語  
説明

EOD-heating…日没の時間帯 (end of day) から数時間における温度管理に着目した変夜温管理

## 今後の発展方向

EOD-heating 処理で年内出荷ができる品種については早期に現地推進を行います。年内から年明け出荷になる品種においては、温度設定を考慮し推進を図ります。

## 関係者からの声

- (実証ほ導入農家)
- 前年と出荷時期があまり変わらない品種については、燃油の削減ができ今後も続けていきたい。
- (栽培農家)
- 温度設定により出荷時期が異なるので、普及については、少面積から進めていきたい。

## 高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660    tel：088-674-1922